
北海道立図書館報 No.219

2025.11.13



【書庫ツアーを開催しました。】

8月8日にこども書庫ツアーを、9日に北方資料室の書庫ツアーを開催し、多くの方にご参加いただきました。詳細は活動報告1でご紹介します。

目 次

▶ にれ「道立図書館に流れる音楽」	1～2
▶ 活動報告1「書庫ツアー」	3～4
▶ 活動報告2「研修事業」	5～7
▶ 活動報告3「連携事業」	8～9
▶ 活動報告4「展示を振り返って」	10～12
▶ 令和7年度（2025年度）上半期の事業一覧	13
▶ 掲示板	14

これ

「道立図書館に流れる音楽」

北海道立図書館長 岸本 亮

図書館は静かにすべき場所、という認識はかなり一般的に浸透しているように思います。公共の施設であれば、他の利用者の迷惑にならないように騒いだりしないのがマナーではありますが、とりわけ図書館は、静かにすべき場所という認識が広く定着していると思います。昨今はBGMとして音楽を流している図書館もあり、こうしたイメージも変わりつつあるのかも知れませんが、マンガやドラマなどの図書館・図書室の場面では、登場人物が思わず声を上げてしまうと周りから口の人差し指を当てて「シー」とたしなめられるのが定番の流れであり、「図書館でのシーンあるある」になっていますね。

私たちの道立図書館も、そんな静かな図書館のひとつではありますが、そんな図書館であっても開館日に毎回、音楽が流れる瞬間があります。それは、閉館時刻をお知らせするときです。単に退館を促すアナウンスのみの図書館もあるとは思いますが、当館では、閉館をお知らせするアナウンスとともに音楽を流しています。

このような「終わりの時刻」をお知らせする際に音楽を流すことは、百貨店など大きな商業施設などではよく行われています。「別れのワルツ」や「蛍の光」は、日本特有のイメージではありますが、聞こえてくるだけで閉店の時間なのだと感じるほどの定番となっています。このほかにも、小学校の下校時の放送や、市町村の防災行政無線の夕刻の放送で、「夕焼け小焼け」などの童謡の旋律が流れたりします。こうした帰宅を促す時などに音楽が流れたりすることが日常的にあるため、静かな図書館でも違和感なく受け入れられているのだらうと思います。

私は、館長として着任した日に、当館の閉館時に流れる放送を初めて耳にしましたが、閉館を告げるアナウンスとともに流れた曲は、映画のサウンドトラックのような管弦楽によるアレンジで、聞き覚えのない旋律でした。スマホのアプリで曲を検索してみてもヒットする曲がなかったため、職員の皆さんに曲名を尋ねてみたところ、平成7年（1995年）に放送されたNHKのテレビドラマ「大地の子」のテーマ曲であることがわかりました。「大地の子」は、中国残留孤児の半生を描いた物語であり、ドラマとしての評価も高かったことは記憶していたものの、視聴したことはなかったため、テーマ曲までは覚えていませんでした。

どんな経緯でこの曲が選ばれたのかについては、放送する音源を作成するにあたり、アナウンスの録音のほか、音楽の使用許可等権利関係の処理も含めて外部業者に発注する際に、旋律を奏でる二胡の美しい音色が決め手となって、この曲が選ばれたとの話を聞きました。約20年にわたり、当館の閉館時に流されてきたこの曲は、誰もが知っているスタンダードな曲では

ない曲が選ばれたことで独自性を生み、そのゆったりとした穏やかで哀愁のある旋律は、閉館時に流れる音楽に相応しく、当館に根付いているように思います。

音楽は記憶に強く結びつくものだと思いますので、閉館時に流れるこの旋律は、何度も閉館まで当館を利用していただいた方にとって馴染みとなり、どこかで耳にすることがあれば、図書館での記憶が思い起こされるようになるのかも知れません。そんなふうはこの旋律が、この道立図書館での記憶とともに、職員や利用者の皆さんの中に残っていけば良いなと思っています。

そして私も、いつかこの旋律を耳にしたときには、道立図書館とともに、この拙稿を書いたことも思い出して、きっと、恥ずかしくて赤面することになるのでしょう。

さて、今回の「にれ」のコーナーも、そろそろ終わりの時間となりました。お別れに、誌面では音楽を流すことはできませんので、図書館を歌った自作歌の歌詞を載せます。道立図書館のことを歌ったものではありませんが、私の図書館に対する想いを込めたものですので、この歌とともにお別れをしたいと思います。最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

「図書館の魔法」(作詞 岸本 亮)

言の葉舞い散る書籍の杜 過去へと誘う回廊の奥
ほのかな灯火切り取る闇 針の落ちる音さえも聞こえる静寂

革張りの表紙 セピア色の頁 続く文字の一本道
いつの日かたどりくる誰かを待っている

ここは図書館 受け継ぐ伝言(つてごと)
魔法のように 言葉が渦巻く思考の海の底

書物に託した想いの軌跡 手に取る誰かに届いた奇跡

幾千万の蔵書 短すぎる一生 読み解ける時間(とき)は過少
選んだ本との出会いに幸せあれ

ここは図書館 繋ぐ年代記(クロニクル)
魔法のように 言葉が導く歴史の頁をめくる

ここは図書館 数多の物語(ストーリー)
魔法のように 言葉の糸が紡いだ綴織(タペストリー)

図書館の魔法 覚めない夢のよう



書庫ツアー

【こども書庫ツアー2025】

普段は入ることができない書庫や事務スペースを巡りながら、図書館に親しんでもらう、こども書庫ツアーを開催しました。

■日時：8月8日（金）

13:30～15:00

■会場：研修室、第一書庫、北方資料室書庫、
第二書庫

当日は小学生と保護者合わせて計9名の皆さまにご参加いただきました。

研修室で、本の探し方についての説明を行った後、普段は入ることができない第一書庫～事務スペース～北方資料室書庫～第二書庫を巡っていきました。

第一書庫では、昭和から平成にかけて発行された絵本や恐竜の挿絵の変遷がわかる本を紹介しました。北方資料室書庫では、北海道に関する児童書や道内各地域のものごとを詠んだかるたなどの北方資料を、第二書庫では、70年代から80年代の漫画雑誌や新聞を紹介し、懐かしいと保護者の方にも好評でした。中でも集密書架は、北方資料室の手動式も第二書庫の電動式も初めて見たという参加者がほとんどで、熱心に写真を撮っている場面も見られました。最後は、館長室へ案内し、館長の椅子に座って写真撮影をしました。

開催後のアンケートでは「かんちょうしつにまでつれてってもらってうれしかった。ふるい本まであったからびっくりした。」「としょかんで本がたなにある物だけかと思っていたけど書庫にまだ本があることを初めて知りました。」等の発見の喜びが伝わる感想をいただきました。

（一般資料サービス課）



【北方資料室書庫ツアー「ようこそ北方資料の世界へ」】

北方資料の入門編的な書庫ツアーを開催しました。昨年度は長寿命化工事中で参加型の事業が実施できなかったため、2年ぶりのツアー開催となりました。

■日時：8月9日（土）

14:00～15:30

■会場：研修室、第一書庫、北方資料室書庫

高校生以上を対象に参加者を募集し、当日は18名の幅広い年代の皆さまにご参加いただきました。



始めに、図書館1階の研修室で、20分ほど当館の北方資料室の主な収集対象や業務内容について説明したあと、普段は入ることのできない第一書庫と北方資料室書庫をご案内しました。

北方資料を身近に感じていただけるよう、図書資料だけでなく、地図や写真資料などからもいくつか特徴ある資料をピックアップし、その背景やレファレンス事例等を絡めて紹介しました。ツアー中、参加者の皆さまには机上や棚に用意した資料を手に取り、熱心にご覧いただきました。また、多くの質問が飛び出し、開催時間を5分ほど延長する盛り上がりとなりました。

開催後アンケートからは「どのような資料を収集しているのか知ることができた」「図書以外の資料にも面白いものが多いとわかった」「図書館を回るだけで北海道の歴史が垣間見られた」「今後、図書館の利用がしやすくなる」等のお声をいただきました。

（北方資料サービス課）



研修事業

【令和7年度（2025年度）全道図書館新任職員研修会】

図書館活動に必要な基本理念の理解及び基礎知識の習得を図ることを目的として、道内公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して1年未満の職員を対象に開催しています。

今年度は全道から50名を超える参加者が集合形式で受講し、研修生同士の交流の場ともなりました。

■期 日：6月12日（木）～13日（金）

■会 場：北海道立図書館 研修室

■参加人数：55名

■日 程：

【1日目】

講義「公立図書館概論」 北海道立図書館利用サービス部長 中田 こずえ

講義「資料収集」

大空町東藻琴図書館業務係長（司書） 横野 宏美

情報交換「こんなときどうしてる？図書館の仕事」

石狩市民図書館主任（司書） 吉岡 律子

北海道立図書館総務企画部企画支援課主事 川前 晃子

【2日目】

講義「カウンターの仕事」 江差町図書館図書係長（司書） 川村 奈津希

講義「著作権法 入門編」

北海道立図書館利用サービス部一般資料室一般資料サービス課長 原 美代子

講義・演習「笑顔がつながる児童サービス、今こそ第一歩！」

函館市中央図書館チーフ（司書） 宮本 加奈美（認定司書）

講義・施設見学「道立図書館活用術」

北海道立図書館利用サービス部一般資料室資料整備課長 今野 徹

同 北方資料室北方資料サービス課主任 宮本 浩

■事後アンケートから

・道内のいろいろな図書館の方とお話できる機会がないため、この時間はとても貴重だった。

- ・細かくわかりやすく説明していただき、これからは役立つ内容だった。
- ・具体的なポイントを聞いて良かった。すぐに活用したいと思う。



【令和7年度（2025年度）全道図書館中堅職員研修会】

図書館運営・企画能力の向上、変化する利用者ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的として、道内公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して3年以上の職員を対象に開催しています。

今回は「だれもが使いやすい図書館」をテーマとしました。講義や事例報告を通して考えを深めるとともに、参加者同士の情報交換やグループワークは館や地域を越えて交流する時間となり、「励まされた」「視野が広がった」等の声が聞かれる有意義な研修となりました。

■期 日：7月10日（木）～11日（金）

■会 場：北海道立図書館 研修室

■参加人数：29名

■日 程：

【1日目】

説明「道教委における障がい者の生涯学習推進の取組について」

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課主査 廣川 貴志

事例報告「あそぶっくでの多文化サービスについて」

NPO法人あそぶっくの会事務局長 平山 純

情報交換「聞いて！聞かせて！サービスあれこれ情報交換」

北海道立図書館総務企画部企画支援課専門主任 関口 彩子

【2日目】

講義「図書館での効果的な情報表現を考える」

公立大学法人札幌市立大学デザイン学部人間情報デザインコース

教授 柿山 浩一郎

講義「図書館とカラーユニバーサルデザイン（CUD）」

NPO法人北海道カラーユニバーサルデザイン機構

副理事長 本間 純子

講義「ブックスタートから考える、特別なニーズのある利用者へのサポート」

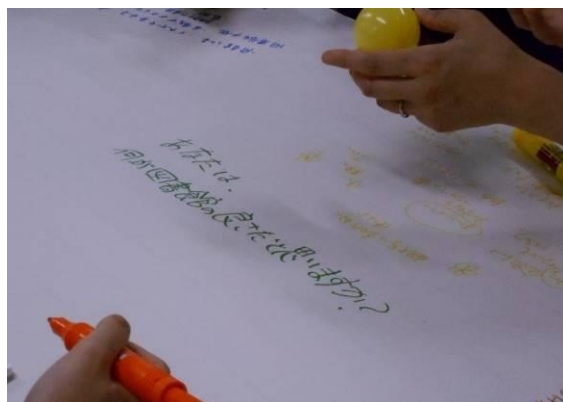
NPOブックスタート 大津 智美

演習（グループワーク）「私たちが目指す、『だれもが使いやすい図書館』」

進行：NPOブックスタート 大津 智美

■事後アンケートから

- ・どんな方でも同じように図書館のサービスを受けることができる環境を整えていくことが大切であると改めて感じた。
- ・無意識のうちに健常者の参加が前提となっているサービスやイベントが多いので、今後見直したい。
- ・言語が異なっても本という共通媒体が、人と人を繋げることにとても有効であると知ることができてよかった。
- ・誰に向けた情報なのか、そのためにどう見せるのかを意識しながら掲示物の作成やメディアの活用・使い分けに取り組んでいきたいと思った。
- ・少しの工夫でいろいろな見え方の人が不便を感じにくくなることがわかったので、意識して取り入れていこうと思う。
- ・個々のニーズに寄り添えるような図書館としての体制づくり、司書の意識づくりが必要だと考えさせられた。
- ・事情はそれぞれながらも同じ図書館で働く者同士、みんな何かしらの想いを持っていることがお互いに伝わってきたことで、何より励まされた。



(企画支援課)

連携事業

【道立図書館・道立近代美術館連携展示】

道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、平成30年度から近代美術館で開催する展覧会に併せて、美術館内の特設コーナーで当館の蔵書を紹介しています。上半期は2つの展覧会で関連展示を行い、特別展を鑑賞された幅広い年代の方々にご覧いただきました。

「浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展」(4月25日(金)～6月15日(日))では、歌川国芳の浮世絵に関する図書を中心に、「金閣・銀閣 相国寺展」(7月19日(土)～9月7日(日))では、禅や若冲、応挙を紹介する図書を展示しました。



【道議会図書室・道立図書館連携展示】

道立図書館では、今年も「新着図書+ (プラス)」として道議会図書室が毎月新たに購入する図書と関連するテーマに焦点を当てた展示を行いました。道議会図書室の選書は「自治、まちづくり、人権、環境問題」等に造詣が深く、こちらも負けられないように選りすぐりの本を並べています。

「新着図書+ (プラス)」も含めて、道議会図書室の図書の貸出しは議員と道職員に限られています。入室は自由です。道立図書館の予約本受取窓口もあるので、ぜひ気軽にご来室ください。道議会庁舎の1階にある、安くて美味しい議会食堂もお勧めです。



(一般資料サービス課)

【道立図書館・かでの2・7連携展示】

道民活動センタービル（かでの2・7）9階、生涯学習推進センター内のまなびの広場において、昨年度に続いて、道民カレッジのインターネット講座のテーマに連携して、より学びを深め、探求するための資料として、各回10冊程度当館から貸出しを行い、展示に協力しています。

令和7年5～6月は「道内集治監の歴史について」、7～8月は「環境問題について」がテーマでした。



5～6月「道内集治監の歴史について」



7～8月「環境問題について」

(一般資料サービス課・北方資料サービス課)

【雑誌スポンサー制度のご案内】

この度、雑誌『婦人之友』（婦人之友社）の
スポンサーとして、江別友の会様にご協力いた
だけることになりました。

雑誌スポンサー制度は、道立図書館で利用さ
れている雑誌のスポンサーになることで、雑誌
のカバーや当館ホームページに広告を掲載する
制度です。

雑誌スポンサーは、(株)わかさいも本舗様、(株)北菓楼様、(株)コンサドーレ様、北海道農業
協同組合中央会（JAグループ北海道）様にご協力いただいています。皆さまのご支援に改めて感
謝申し上げます。

企業・個人事業者の皆さま、当館では雑誌スポンサーを随時募集しております。文化的社会貢献
と企業等のイメージアップを効果的にPRできる機会ですので、ぜひ前向きにご検討ください。

参加希望や詳細は、利用サービス部資料整備課までお気軽にお問い合わせください。

北海道立図書館ホームページ>雑誌スポンサー

<https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/sponsor/index.html>

(資料整備課)



一般資料閲覧室のスポンサー雑誌書架

展示を振り返って

道立図書館では日常の課題解決になる本や利用者の注目の高い本を司書が選び、展示しています。ここでは令和7年3月以降の展示をご紹介します。

【一般資料閲覧室】

○「春から始めよう！」

期 間：3月1日（土）～4月29日（火）

春は別れと出会いの季節。これから新生活を始め方、新しく何かを始めようと考えている方などに向けて、様々なジャンルの初心者向け入門書を展示しました。



○「家族のカタチ」

期 間：5月1日（木）～6月26日（木）

5月6月はこどもの日や母の日、父の日と家族の記念日が続きます。子や父母などさまざまな立場から、家族関係や親子関係を考える本を展示しました。



○「日本のコメを考える～コメか、コメ以外か～」

期 間：6月28日（土）～8月28日（木）

昨今の価格高騰により注目を集める、日本の米。主食としての米に関する本のほか、パン・麺・雑穀を活用するレシピ本など、米価高騰の今役立つ資料を幅広く紹介し、様々な年代の方にご利用いただきました。



【ビジネスコーナーPickUp!】

2階ビジネスコーナー横では「ビジネスコーナーPickUp!」と題して、仕事に役立つ資料を紹介する、ミニ展示を実施しています。

4月から6月のテーマは「できる大人の文章作法」。ビジネスパーソンに必要な文章作成に関する資料、約20冊を展示しました。続く7月から9月のテーマは「めざせ!モチベーションアップ」で、「モチベーション」「やる気」「意欲」などをキーワードに、モチベーションアップ関係の本を展示しました。



【えほんコーナー】

○「ピカピカのがっこう・ようちえん」

期 間：3月29日（土）～5月29日（木）

厳しい環境が伝えられる教育現場。けれども毎年、希望を胸に、たくさんの新入生がやってきます。

春のえほんコーナーでは、新入学、新入園の子どもたちに向けて「学校は良いところだよ。先生は優しいし、教室は楽しいよ」というメッセージを込めて、小学校と幼稚園、保育所をめぐる絵本をたくさん展示しました。



道立図書館は、子どもたちの健やかな成長を応援しています。

○「絵本で楽しむアンデルセン童話」

期 間：4月15日（火）～5月15日（木）

「こどもの読書週間」に合わせてアンデルセン童話の絵本54冊を集めました。世界三大童話に数えられるアンデルセン作品は、様々な絵本作家たちによって何度も絵本化されています。同じ原作を持つ作品が数種類ずつ並び、作家ごとのアレンジの違いを楽しむことのできる展示となりました。



○「恐竜いっぱい!えほん展」

期 間：5月31日（土）～7月30日（水）

夏にたくさん開催される恐竜イベントですが、図書館の恐竜展では、カッコイイ恐竜、カワイイ恐竜、これも恐竜?というものまで、多種多様な100冊以上の恐竜の絵本を展示しました。



(一般資料サービス課)

【北方資料展示コーナー】

○「何だ? 缶だ!～缶詰にまつわる北海道のエトセトラ～」



期 間：3月1日（土）～5月29日（木）

開拓使は明治10年（1877年）、石狩市に日本初の缶詰工場、石狩缶詰所を設置し、石狩川で獲れたサケを原料に、缶詰の製造を開始しました。「缶詰の日」は、製造を開始した10月10日にちなみ制定されました。この石狩缶詰所の他、同じく開拓使が設置した鹿肉の缶詰工場、大正から昭和初期に盛んだった蟹工船（蟹缶を製造する工船）、北海道銘菓と深い関わりのあるバター等をテーマに、資料で色々なエピソードを紹介しました。

○「あさひかわ菓子博2025開催記念道民自慢のお菓子たち～五勝手屋羊羹から近年のお菓子まで～」

期 間：5月31日（土）～7月30日（水）

明治44年（1911年）に東京で行われた「帝国菓子飴大品評会」にはじまり、4年に1度開催地を変えて回を重ねてきた菓子博(全国菓子大博覧会)。



今回は57年ぶりに北海道(旭川市)で開催されました(5月30日(水)～6月15日(日))。この開催にあわせて、当館で所蔵する関係資料を紹介。57年前、昭和43年（1968年）の札幌市での開催時に刊行された『全国菓子大博覧会記念誌』などの菓子博に関する資料、また、北海道内の菓子店が発行するパンフレットや関係者の著作類を紹介。このほか、明治期に発売された「五勝手屋羊羹」や、「わかさいも」「じゃがポックル」など長く愛され続けている「道民自慢のお菓子」の菓子箱や包装紙などを展示しました。また、北方資料閲覧室では展示資料に関連する貸出可能な図書を揃えたミニコーナーを設けました。

(北方資料サービス課)

令和7年度（2025年度）上半期の事業一覧

事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数
1 「てくてく、べったん！かるちやるスタンプラリー」	3月15日（土）～4月6日（日）	北海道立図書館ほか	かるちやるnet（文化施設連絡協議会）参加10施設でのスタンプラリー	—
2 北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①4月25日（金）～6月15日（日） ②7月19日（土）～9月7日（日）	札幌市 （北海道立近代美術館）	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。 ①浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展 ②金閣・銀閣 相国寺展	—
3 令和7年度北海道図書館振興協議会第1回理事会・総会	4月25日（金）	札幌市 （札幌市中央図書館）	北海道図書館振興協議会理事会、総会及び講話	44名
4 全道図書館新任職員研修会	6月12日（木）～13日（金）	北海道立図書館	道内の図書館等勤務1年未満の職員を対象とした、新任職員向け研修	55名
5 全道図書館中堅職員研修会	7月10日（木）～11日（金）	北海道立図書館	道内の図書館等勤務3年以上の職員を対象とした、中堅職員向け研修 テーマ「だれもが使いやすい図書館」	29名
6 こども書庫ツアー2025	8月8日（金）	北海道立図書館	普段は入ることのできない書庫や事務スペースを巡りながら、図書館に親しんでもらう	9名
7 北海道立図書館利用講座・北方資料室書庫ツアー「ようこそ北方資料の世界へ」	8月9日（土）	北海道立図書館	普段は入ることのできない書庫を巡りながら、北方資料室が所蔵する貴重な資料を紹介し、北方資料への興味と関心を高め、図書館利用の促進を図る	18名
8 コンサドール連携事業	8月30日（土）	札幌市 （大和ハウスプレミストーム （札幌ドーム））	イベントスペース「ドレーくんひろば☆」にて出張利用登録会、SDGsコラボ展示、防災コラボ展示、しかけ絵本展示を実施	—
9 第65回北海道図書館大会	9月11日（木）～12日（金）	札幌市 （札幌サンピアザ）	基調講演、プログラム、情報展示等	会場参加188名 基調講演アーカイブ配信15名
10 道立図書館・かでの2・7連携展示事業	令和7年5月～令和8年2月	札幌市 （道民活動センター）	道民カレッジのインターネット講座のテーマに合わせて展示	—
11 道議会図書室・道立図書館連携展示事業	毎月、道議会図書室の新着図書を紹介と合わせて実施	札幌市 （北海道議会図書室）	道議会図書室で毎月購入する新着図書に関連する分野の道立図書館所蔵資料を「新着図書+（プラス）コーナー」として展示	—

道立図書館は令和8年に100周年を迎えます

道立図書館は、大正15年（1926年）11月に現在の札幌市中央区北1条西5丁目に「北海道庁立図書館」（現・北菓楼札幌本館）として開館しました。その後、現在の江別市へ昭和42年（1967年）に移転し、令和8年には100周年を迎えるため、現在、事業の企画や記念誌発行等の準備をしているところです。

また、当館を所管している北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課が、本道の読書活動の活性化を考える「図書館・読書活動活性化プロジェクト」の一環として、「道立図書館100年応援事業」を企画しました。読書活動や図書館サービスに高い興味・関心を持つ道職員の参加を広く募り、当館司書が書庫の案内や資料紹介を行う「道立図書館バックヤードツアー」、「図書館の未来をデザインするワークショップ」、そして、道庁・道教育庁の様々な部局の職員及び当館の司書が企画を出し合う「図書館・読書活動魅力化推進ワーキンググループ」の3つの事業が令和7年1月から7月にかけて実施されました。

当館においても、ここで出された案を参考にしながら、来年そしてこれからの100年を見据えた図書館活動の推進をしてまいりたいと考えます。

掲 示 板

【職員人事異動】

令和7年度の異動者を以下のとおりご紹介いたします。

今年度は、司書職で3名の新採用がありました。どうぞよろしく申し上げます。

退 職 令和7年3月31日付け

館 長 堀 籠 康 行

企画支援課企画主幹 桑 原 裕 子

資料整備課長 須之内 美智代

転 出 令和7年3月31日付け

副 館 長 松 井 晃 之 (生涯学習推進局社会教育課調整幹(兼)主査(兼)生涯
学習推進センター主査へ)

管 理 課 長 岡 部 真 希 (北見北斗高等学校事務長へ)

管理課主査(総括) 及 川 直 之 (教職員局教職員事務課旅費管理係長へ)

管 理 課 主 事 西 山 澄 香 (十勝教育局道立学校運営支援室主事へ)

転 入 令和7年4月1日付け

館 長 岸 本 亮 (学校教育局高校配置・制度担当局長から)

副 館 長 立 花 博 史 (教職員局教職員課長から)

管 理 課 長 原 田 尚 樹 (根室教育局道立学校運営支援室長から)

管 理 課 主 任 皆 嶋 佳 那 子 (宗谷教育局教育支援課主任から)

企画支援課専門主任 徳 下 公 子 (新採用)

一般資料サービス課主事 神 内 圭 太 (新採用)

北方資料サービス課主任 高 橋 淳 美 (新採用)

北海道立図書館報 第219号

令和7年(2025年)11月13日発行

北海道立図書館長 岸 本 亮

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL:011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX:011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: https://www.library.pref.hokkaido.jp